



加茂市医師会より

加茂市医師会

会長 永 井 雅 昭



本年6月の加茂市医師会定例総会で、4年間務められた長場章前会長に代わり、会長職を拝命した永井雅昭と申します。私は加茂市で生まれ育ち、平成4年新潟大学医学部を卒業し、旧第二内科で故 荒川正昭先生、下条文武先生、成田一衛先生に師事し、新潟大学病院はじめ県内外の病院で主に腎臓内科学を専門として研修してまいりました。平成19年に加茂市に戻り、透析クリニックの院長に就任しました。ほどなく当時の五十嵐隆夫会長（現顧問）のもとで理事に選出され、4年前から副会長職を務めて参りました。この間約12年間にわたり、県医師会の広報委員をさせていただき勉強させていただいたことは、本誌本年5月号の「広報委員の一言」で述べさせていただきました。生まれ故郷の医師会長に就任することは大変名誉なことではありますが、その責任の重さをひしひしと感じております。浅学菲才の身ではございますが、会員の皆様からのご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて、72年目を迎える加茂市医師会は、現在会員数（令和8年4月1日現在）33名、16診療所と1病院と小さな医師会ながら、お互いに顔の見える関係のなかで、加茂市、田上町の地域医療を支えています。令和5年度以降、医業承継やご予約のご子息の加入、また、令和7年度は県立加茂病院の先生方5名（板野武司副院長先生、中山義秀先生、北澤智二先生、若林貴志先生、林 啓一先生）の加入がありました。若手の先生方もご入会いただき、様々な会合で前向きな変化がみられています。本年度の役員改選では、新たに、皆川豊先生、若林貴志先生、林 啓一先生、3名の先生方から理事にご就任いただき、活力ある若手の先生方とベテランの先生方とが融合し、加茂市医師会を盛り立てております。

年間行事では、新年会で加茂病院・診療所懇談会として新加入の先生から専門領域のご講演を拝聴しております。また、8月には加茂・田上地域の医師、歯科医師、薬剤師の先生方が一同に会し「三師会」と称し、持ち回りで医療情勢などの講演会を開催し医療会全体で研鑽に励んでいます。講演会後は酒席を設け、長場前会長のライブなどもあり、お互いの交流を深めています（写真）。専門科、年齢、経験など様々な背景を持ちながらも地域医療への熱意は、皆さん変わらずに熱く、明朗に語り合う機会も忘れない姿は加茂市医師会の特色と感じています。

ここでお知らせですが、加茂市診療所設置奨励事業補助金の改訂がありました。

主な改正点は、新規開業者へは従来の用途を問わない1,000万円の補助金の他、新たに施設整備補助に上限2,000万円、設備整備補助に同じく上限2,000万円が新設されました。新規開業者へは最大5,000万円の補助金を受けることができる点です。すでに加茂市のホームページにも掲載されていますので、興味のある先生方は是非一度、ご覧ください。

